

報道関係各位

件 名 「ゼロカーボンシティ」共同宣言について

1 概要

埼玉県西部地域まちづくり協議会構成5市（所沢市、飯能市、狭山市、入間市及び日高市）で2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」へ一丸となって挑戦することを共同宣言します。

2 内容

日 時 令和3年2月15日（月）10時45分から

場 所 所沢市役所庁議室（高層棟3階）

所在地：所沢市並木一丁目1番地の1 04-2998-1111

出席者 所沢市長 藤本 正人（ふじもと まさと）

飯能市長 大久保 勝（おおくぼ まさる）

狭山市長 小谷野 剛（こやの つよし）

入間市長 杉島 理一郎（すぎしま りいちろう）

日高市長 谷ヶ崎 照雄（やがさき てるお）

※あわせまして、脱炭素に資する取組例として、同日正午まで、所沢市役所庁舎 西口広場にて、燃料電池自動車、電気自動車及び「はしらベンチ」の展示を行います。

【連携に至った経緯】

近年、台風や豪雨などの異常気象による災害が国内外で増加し、今後、更なる頻発化・激甚化が予測され、IPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の報告書では、「気温上昇を2度よりリスクの低い1.5度に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素の排出を実質ゼロにする必要がある」と示されています。我が国においては、首相が2020年10月の所信表明演説で、2050年までのカーボンニュートラルの実現を目指すことを表明しており、また、地方自

治体においても、2050年までにCO₂実質排出量をゼロに取り組むことを表明する「ゼロカーボンシティ」が増えつつあります。

広域で二酸化炭素の排出削減の取組を進める事は、地球温暖化の解決のみならず、地域の資源や経済の循環の点でも意義があることから、埼玉県西部地域まちづくり協議会（ダイアプラン）におきましては、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す、『『ゼロカーボンシティ』共同宣言』をすることとなりました。

目標の実現に向けて取組を各市において進めるとともに、各市の持つそれぞれの強みを生かし、省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの利用・促進や森林の整備・保全及びその活用を共同で取り組んでまいります。

【ゼロカーボンシティの実現に向けた取組方向】

2050年までに「二酸化炭素の排出実質ゼロ」を目指すとともに、次の3本の柱を軸として共同で取り組んでいきます。

- 1 省エネルギー化の推進
- 2 再生可能エネルギーの利用・促進
- 3 森林の整備・保全及びその活用

【用語の説明】

ゼロカーボンシティ宣言	地方公共団体が脱炭素社会に向けて、2050年までに二酸化炭素実質排出量ゼロに取り組むことを表明すること
-------------	---

担当者	環境緑水課課長	村 嵩	豊和
	環境緑水課主査	出井	孝子
連絡先	TEL 042(973)2125		